

2025年7月7日

椋山女学園大学

声とピアノが語る西洋音楽史 一

椋山女学園大学で特別講義「フランス音楽の世界」実施

椋山女学園大学（愛知県名古屋市、学長：黒田由彦）では、7月10日（木）、外国語学部国際教養学科のヨーロッパ専門科目「西洋芸術論」の特別講義として「フランス音楽の世界」を実施します。「西洋芸術論」は、ヨーロッパの芸術を体系的に学び、多角的な視点から分析することで、異文化への関心を高めることを目標としており、今回の特別講義では、西洋音楽史の流れを学ぶとともに、オペラ歌唱とピアノ演奏の実演を通して、特にフランスの作曲家（フォーレ、ドビュッシー、グノーなど）による声楽・オペラ・ピアノ音楽の魅力を体感的に理解することを狙いとしています。ゲストには、地元名古屋を拠点に幅広い舞台活動を行う声楽家・山本みのり氏と、クラシック音楽の普及に取り組むピアニスト・梶田奈津希氏を迎えます。

当日は、本学教育学部棟のコンサートホール（音楽室）で開催し、「西洋芸術論」の受講生に限らず、他学部の学生や教職員も自由に参加します。本学では今後も、“本物にふれる”学びの機会を積極的に提供していきます。

フランス音楽の世界

【日時】2025年7月10日（木）16:40~18:10

【場所】椋山女学園大学 星が丘キャンパス

教育学部棟 401 音楽室

（名古屋市千種区星が丘元町 17-3）

【参加者】「西洋芸術論」の受講生・本学の学生・教職員

【講師プロフィール】

◆山本みのり氏

名古屋市出身。高校卒業後、民族歌舞団荒馬座に入団。退団後、劇団うりんこ付属演劇研究所へ入所、第31期研究生を修了。名古屋芸術大学音楽学部声楽コース入学、卒業。同大学研究生修了。これまでに松本三紀夫、谷田育代、加川文子、大下久深子各師に師事。大学同期生の3名とソプラノ4人の“DECOBOCO”を結成し、2019年からこれまでに4回声楽コンサートを開催。また大学卒業後は民族芸能まんまる企画で民族芸能を土台とした舞台にも携わる。2023年民俗芸能まんまる企画主催～“被爆ピアノコンサート”を開催・出演。

◆梶田奈津希氏

名古屋市立菊里高等学校音楽科卒業。フェリス女学院大学音楽学部、及び同大学院修士課程を修了。卒業後、菊里高等学校の同級生とピアニスト5人組“Le cinq”を結成し、クラシック音楽を身近に感じてもらうことをテーマにピアノコンサートを開催。その他、愛知県を中心に演奏活動を行いながら後進の指導にもあたっている。これまでに、磯村奈々、桐山春美、遠藤郁子、下田幸二、黒川浩の各氏に師事。



本件に関するお問合せ

学校法人椋山女学園 広報課

担当：中島、渡部

TEL：052-781-5940

メールアドレス：kouhou@sugiyama-u.ac.jp